



2020年11月27日
東日本旅客鉄道株式会社
大宮支社

宇都宮線・日光線の一部駅で 冬季のドア扱いを実施します

JR 東日本大宮支社では、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みの一環として、列車のドアは車掌の操作により開閉しています。

これから気温が低くなる冬季期間を迎えるにあたり、宇都宮駅・氏家駅・黒磯駅・日光駅の各駅において、2020年12月7日（月）より、始発列車が停車中は、お客さまがドア付近に設置されているドアボタンを操作することでドアを開閉できる状態といたします。これにより車内換気と快適な車内温度保持の両立を図ってまいります。

1 実施期間

2020年12月7日（月）初電から 2021年3月31日（水）終電（予定）まで

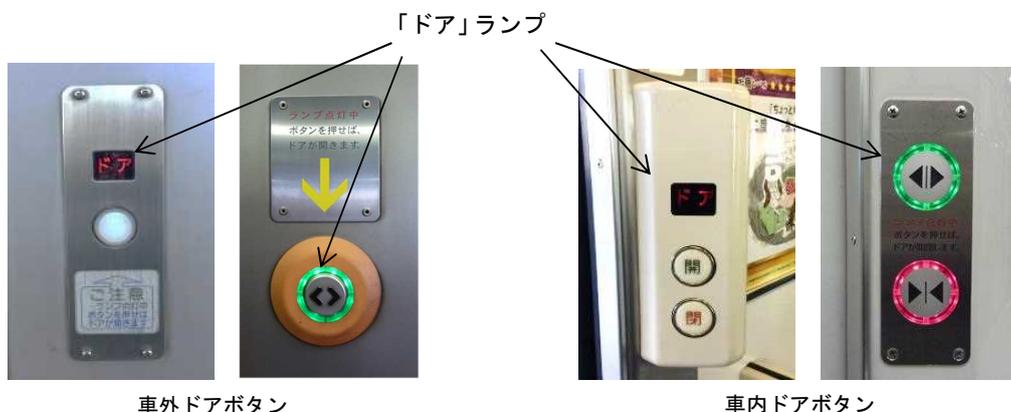
2 冬季のドア扱い実施駅

宇都宮駅・氏家駅・黒磯駅・日光駅の各駅において始発列車に限り実施します。

なお、途中駅におけるドアは車掌の操作により開閉いたします。（ワンマン列車を除く）

3 ドアボタンについて

列車が駅に停車中、「ドア」ランプが点灯している場合に、車内外のドア付近に設置されているドアボタンをお客さまが操作することでドアを開閉することができます。乗車後、車内ドアボタンでドアを閉めることもできます。なお、一部のドアは車内換気のため、車掌により開けさせていただきます。



※ドアボタンは、車両形式により2つのタイプがあります。